

SUCCESS STORY

【株式会社サードウェーブソリューションズ】

1200テーブルから統合データベースを3カ月で構築
Magic xpiを使用したマイグレーションサービスへの展開



プロジェクト

お客様： (株)サードウェーブ
ソリューションズ
東京都

業種： システムインテグレーション

ソリューション： Magic xpi



目的

- 統合データベースの構築によるグループ会社全体の情報基盤の整備
- 統合データベース構築とシステム移行ノウハウの習得



成果

- グループ会社全システムからの『統合データベース』の構築に成功
- 中長期計画のシステム開発のスピードアップ
- データ標準化の整備
- Magic xpi の開発要員の増員
- 蓄積した移行ノウハウを、サービス事業に展開

(株)サードウェーブソリューションズは、2006年6月に設立され、2014年にサードウェーブのグループ会社となりました。システムインテグレーション、ネットワークインテグレーション、アウトソーシング、情報機器販売と4つの事業を最適に組み合わせ、一体となった総合的なソリューションをご提供している会社です。

サードウェーブソリューションズでは、2017年9月にシステム連携ツールの「Magic xpi」を導入し、グループ会社の全システム（販売、仕入、在庫、物流、会計、人事）の個別に持っているデータベースを統合し、『統合データベース』を構築しました。

グループ会社の全システムの『統合データベース』の構築にあたり、Magic xpi を採用した経緯を、SI事業部 シニアスペシャリスト 酒井 貴博 様に伺いました。

「3社のEAIツールを比較検討した結果、Magic xpi を採用した一番のポイントは操作性の良さです。これは、生産性を考慮した場合には重要になります。

次のポイントは、マジックソフトウェア・ジャパンからのご提案内容が優れていたことが上げられます。

実際に構築していく中では、いろいろな問題が発生しますが、経験豊かな専門のコンサルタントからのサポートやアドバイスを直接受けられる体制が非常に重要でした。

これらの要件を総合的に判断した結果、マジックソフトウェア・ジャパンのMagic xpi を採用するに至りました。」



Magic xpi を使用した『統合データベース』構築して行くマイグレーションビジネスを新たに展開して行きたいと思います。

取締役 SI事業部
部長 大坂 芳弘 様



システムの事前調査こそが『統合データベース』を構築する上では一番重要なポイントであったと実感しています。

SI事業部
シニアスペシャリスト 酒井 貴博 様



SUCCESS STORY



3ヶ月で『統合データベース』を構築

今回、サードウェーブグループ全システムの『統合データベース』を構築するに至った背景から開発・導入について、SI事業部 シニアスペシャリスト 酒井 貴博 様に伺いました。

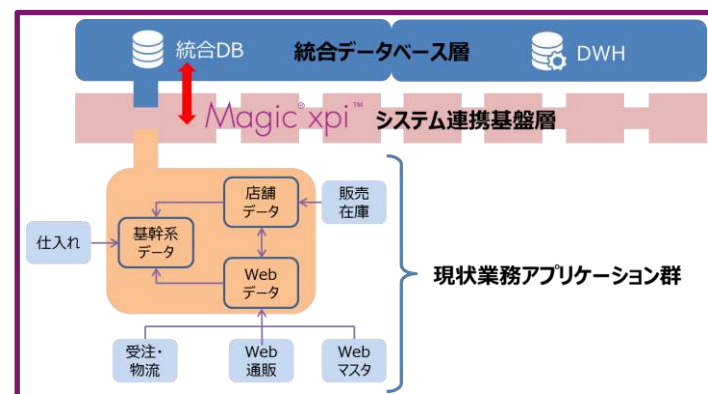
「サードウェーブグループのシステムは、個別のニーズにより作ったシステムが乱立しており、運用ルールが不十分な状態で構築されてきたため、システム間のデータの流れに規則性がなく、全体が複雑に絡み合った状態になっています。そのため、あるシステムに修正や新機能追加をする場合に、他のシステムにどのような影響があるか調査するのに非常に時間がかかっています。

また現在、新業務アプリケーションへ切り替えを計画しており、新旧のシステムを並行稼働しながら段階的に移行できるようにするためには、現行データベースとリアルタイムで同期する『統合データベース』の構築が必要となりました。

『統合データベース』の構築は、現行システム内の1200テーブルを統合するというプロジェクトでしたが、計画通りに導入することができました。そのポイントは2つあります。

1つ目は、全システム6000本のプログラムを徹底的に調査しました。どのシステムはどのデータを使っていて、そのデータはどのような意味を持っているのかを調査し必要なデータと不要なデータ整理しまとめました。この事前調査には2ヶ月かかりましたが、この調査こそが『統合データベース』を構築する上では一番重要なポイントであったと実感しています。

2つ目は、Magic xpi で開発するデータ連携フローを標準化したことです。開発の繁忙期にフレキシブルに開発要員も増やして行くことができ、3カ月という短期間で構築できたのはこの標準化があった成果です。全体で59のデータ連携プロジェクトを開発・運用していますが、標準化は保守性の高さにも貢献しています。」



【統合データベースを導入したシステム概要図】

蓄積したノウハウをサービス事業に展開

Magic xpi を導入した成果及び今後の展開について、取締役 SI事業部 部長 大坂 芳弘 様に伺いました。

「弊社として今回のプロジェクトの成果は大きく2つあります。

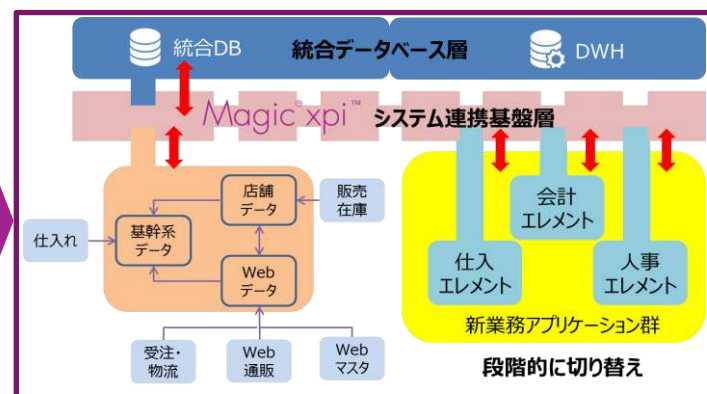
1つ目は、『統合データベース』ができたことで、グループ会社全体のシステムの中長期の開発計画が進められることです。データ連携の仕組みを手組みで構築すると開発・保守ともに属人的になってしまいましたが、Magic xpiを使用することで属人性を排除し標準化することができました。

2つ目は、弊社が行った6000本のプログラムを精査し1200テーブルから『統合データベース』を3ヶ月でまとめ上げたノウハウが社内に蓄積できたことです。

これは今後の弊社のビジネス展開の話にもなりますが、次のような問題で困っている企業は沢山あると思います。

- ・もともとは正規化して作成したデータベースも、長年システムの改修を行ってきた結果、正規化が崩れてしまっている。
- ・システム間連携にcsvファイルで受け渡しを行っていて、インターフェース自体に柔軟性が無く硬直化している。
- ・バッチ形式のシステム間連携なので、情報のリアルタイム性がない。
- ・システム改修や移行の負担を軽減するため『統合データベース』を構築したい。

今後は、このような問題を解決してきたノウハウと実績を活かし、同じような問題でお困りの企業に対して、システムの調査からデータの整理、Magic xpi を使用した『統合データベース』構築を含めたシステム/データベースのマイグレーションサービスを新たに展開して行きたいと思っています。」



【今後のシステム構造概要図（移行過渡期）】

www.magicsoftware.com/ja



マジックソフトウェア・ジャパン株式会社

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー24階

TEL : 03-5937-3300 営業所：札幌 仙台 信越 名古屋 大阪 岡山 広島 福岡